

平成26年度 男子硬式テニス部



【26年度概要】

こんにちは、山商男子テニス部です。3年生6人、2年生7人、1年生8人で活動しています。26年度の目標は団体戦でベスト8でした。高校総体、高校選手権、新人戦と3大会ともシード校との対戦までは勝ち進むことはできましたが、上位校の壁は厚くベスト8に進出することができませんでした。しかしながら、着実に力をつけ、内容のあるゲームを行うことができました。何より団体戦のたびチーム一丸となり応援する姿には、チーム力の向上が感じ取られます。27年度のシーズンで目標を達成させるため、長い冬をしっかりと頑張っていきたいと思います。

<部員>

【3年】

中村蓮、田口慎二（度会）村山真司、西澤友貴（五十鈴）、伊藤喜一郎（港）、荒井敬太（磯部）

【2年】

小川太暉（鎌田）、津田盛秀、北井勇人、溝口統太（文岡）、山本翔平（磯部）、倉野駿介（城田）

【1年】

中川侑紀、小寺勇一（厚生）、古田将也（港）、岩上哲也（五十鈴）、雲井寅成（小俣）、倉井大輔（城田）、城山昇大（大王）、濱崎太貴（北浜）

【顧問】

吉田智成（数学：山商2年目）、松島一樹（理科：山商2年目）

中野亜優（英語：山商2年目）、中村裕介（商業：山商3年目）

【活動実績】

◎高校総体

○ 団体戦

2回戦 対 桑名工業 勝利

3回戦 対 四日市工業 敗退

B e s t 1 6

◎高校選手権

○ 男子ダブルス

溝口・津田組 県大会1回戦突破 B e s t 3 2

中村・村山組 県大会進出

○ 男子シングルス

村山 県大会1回戦突破

溝口、小川 県大会進出

○ 団体戦

1回戦 対 皇學館 勝利

2回戦 対 津田学園 敗退

◎新人戦

○ 男子シングルス

溝口 県大会進出

○ 団体戦

2回戦 対 鈴鹿高専 勝利

3回戦 対 四日市 敗退

※ 県強化合宿に溝口統太(2年)が選出されました。

～各大会・思い出のヒトコマ～

○県総体(5月)





昨年秋の悔しい思いの新人戦以来の団体戦。新たに1年生8名を加え気持ちを一つにして臨みました。初戦は頼りのある3年生が奮闘。ダブルスはゲームを1つも落とすことなく勝利。シングルス No 1 も安定した戦いで勝利。シングルス No 2 の2年生は緊張をしていましたが、先輩が2つ勝ってくれていたのので心に余裕をもって試合がすることができました。

ベスト8 をかけた試合は、全国制覇をした四日市工業。非常に高いレベルのテニスに、ポイントを奪うことすらできない状況でした。今までやってきたことを発揮しようと、最後の最後までボールを追いかけている彼らの様子に成長を感じました。

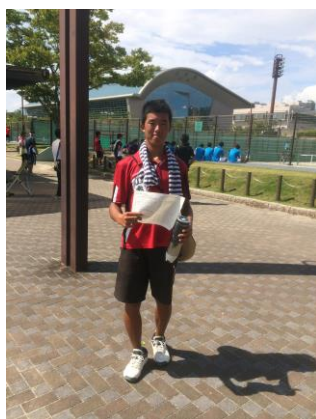
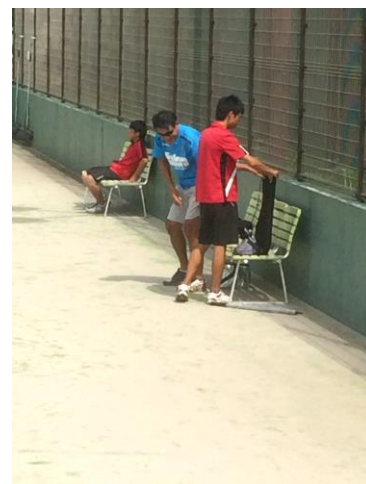
○選手権大会（8月）



3年生2人（村山、中村）が高校選手権まで残り、個人戦でも県大会に、団体戦でもチームの中心として活躍。夏の猛暑の中、練習後、2年生の申し出を断ることなく試合練習を繰り返してくれました。この三年生の有終の美をと臨んだ団体戦。団体戦当日の朝も、メンバーに選ばれなかった部員までもが『応援で練習ができないから、今のうちに体を動かします。』と練習に励んでいたのが頭に残っています。チームの変化にやってくれるのではと期

待を抱いた朝の練習でした。男女40人を超える部員でバスを貸し切って、ガーデンに向かいました。そろいのクラブTシャツで男女が一体となった応援でした。初戦は少しかたくなりましたが、多くの練習試合、様々な経験を活かし苦しみながらも勝利することができました。特にダブルスでは3年生中村がベストパフォーマンスを見せ、津田を支えながらのプレーにキャプテンとしての逞しさが感じられました。2回戦の津田学園に勝てば、シード権獲得に大きく近づける戦い。しかしながら、技術の差は歴然としており、ダブルスでは良いところなく敗退。続くシングルス No1では一進一退の戦いとなりました。村山にとって最後の公式戦。彼には珍しく「みんなのために勝ちたい」とベンチでつぶやいて、コートに向かっていきました。みんなの応援が背中を押した戦いで、見事タイブレークでの勝利。みんなが1つになれた瞬間でした。その勢いをとシングルス No2 では、2年生小川も高い技術を持った相手に防戦一方でしたが、粘り強い試合で走り続けてくれました。残念ながら敗退しましたが、後輩みんなに団体戦の素晴らしさを伝えてくれた3年生に感謝の大会となりました。

○新人戦（9月）





新人戦では3年生が抜けた初めての公式戦。気持ちも新たに臨みました。初戦はシングルス1の津田が実力を発揮できず敗退。ダブルスでは山本、中川ペアが安定したプレイ。特に1年生中川のサーブ、ボレーが安定。それに刺激された2年生山本も調子よく安定したプレイで勝利。シングルス2の小川も勝利。ダブルス2の濱口、倉野ペアも安定したプレイ。特に、濱口は8月頭に手首を骨折。選手権大会に出られなかった悔しさを胸に、普段は緊張し縮こまるところをハツラツとしたプレイでポイントを決めていました。倉野も団体戦初めての出場。緊張はしていたが、流れを掴みベストなプレイ。チームワークよくコート一番の大声をあげての勝利。シングルス3の溝口は安定したプレイで勝利。

次は勝てば目標のベスト8。しかし、相手は強豪高校。シングルス1の北井は最初のサーブでノータッチエースを決めるも、敗退。ダブルス1の山本、中川ペアも奮闘はしたが、惜しくも敗退。シングルス2の津田は実力を発揮したが敗退。ダブルス2の小川、倉野ペア。両者はボレーが得意なプレイヤー。果敢に攻めにいくも敗退。シングルス3の溝口がみんなの悔しさを胸に、1つでも勝利を…と臨みました。途中、リードをしていたものの最後はまくられて敗退。この大会で、1, 2年全員が悔しい思いをしました。しかし、私たちは常に前を向いて突き進みます。悔しい思いを胸に、長い冬を乗り越え、肉体的にも精神的にも強くなって次の高校総体を迎えます。そしてベスト8を目指します。

○バーベキュー（8月末）





3年生が引退をして、記念のバーベキュー。みんな、肉を食べすぎて眠くなった様子です。他には、気持ちが高ぶって水をかけあい、そのとき持っていたTシャツをすべて濡らしてしまった者も…。男女で一緒にしたバーベキューは楽しかったです。最後に1年生女子が夕日に向かってポーズをし、青春を謳歌している様子です。

○日常風景





本校はハードコート2面、クレーコートが4面あります。立地条件が良く、風の影響を受けにくいです。

また、照明設備があるので秋から冬にかけての日の入りの早い時期でも練習が可能です。ボールに長くふれられるのは本校の強みです。

さらには雨が降ったときでもM I P (ミップ) という施設があります。屋根のある施設で、照明もあります。ここではボレー練習やスマッシュ練習ができますので、雨が降った日でも練習が可能です。